



編集・発行 邑楽町役場企画課
〒370-0692 (住所記入不要)
☎ 0276-88-5511 (代表)
☎ 0276-47-5007 (企画課直通)
☎ 0276-89-0136
URL <http://www.town.ora.gunma.jp>
E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。
携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>



〈第六十六回〉

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けしますー。

あすへひとこと

いつの時代までも残したい

邑楽町の昔ばなし



現在も、中野東小学校の西側道路には、春になるとハナミズキとアカメモチの色鮮やかな様子が見られます。(写真は高根澤高明さん撮影)

六町歩の大蛇

中野東小学校西側を南北に通ずる町道を南に向かって歩いていくと、春ともなればハナミズキの花が赤白の色も美しく咲き乱れ、その下に真っ赤に萌え立つアカメモチの垣根が美しく目を引きまします。

その道路から東の方向、中野沼南側道路にかけての地区は団地あり、きれいに整備された田園地帯ありの、朝の散歩道になっていますが、以前この地帯は沼あり、池あり、川ありといった湿原地帯でした。その面積がおよそ六町歩(5万9、502a)ありましたので、この土地を六町歩と呼びました。

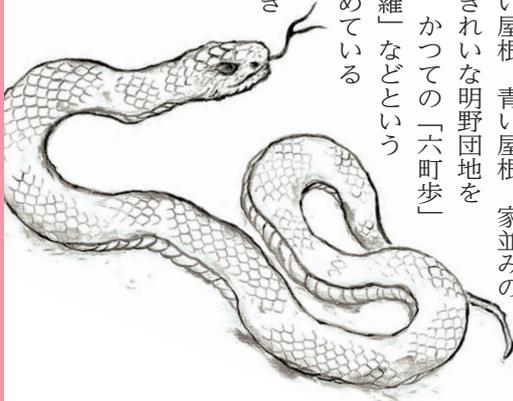
昔、真夏の太陽を遮るように、西の空が一天にわかにかき曇り、雷鳴とともに、大粒の雨が激しく降ってきました。いつときもしないうちに、六町歩のアシ原は、一面沼と化してきました。このありさまを見た人たちは着白になり、震え出し、なかには抱き合っ泣く人もいました。しかし、どうすることもできません。

そのうち、アシ原が見えなくなると、必ずどこからともなく無数の蛇が水を逃れて現れ、大川のほとりにある柳の大木に絡み付くではありませんか。その姿を見た人は体がぞおっとしました。しばらくすると、生暖かい風が吹き、

アシを揺らせて大蛇が現れてきます。その大蛇は時には民家に近づき家畜を襲ったり、子どもまでのみ込んだりしてしまっていました。人々はこの残酷さに、恐れおののきました。

たまたま弘法大師が、布教のため現在の千代田町赤岩に来て滞在されていたが、この話を聞き、中野においでになられ、この災難を救ってくださいました。弘法大師が辺りの北部の高台に曼陀羅を飾り、お経を唱え続けたところ大蛇はたちまち退散し、その後二度と現れませんでした。このことがあってから、土地の人々はこの地を「まんだら」と呼ぶようになったといわれます。

ちなみに、千代田村誌によれば、弘法大師が布教のため赤岩に滞在されたのは弘仁5年(814)頃となっております。今では赤い屋根、青い屋根、家並みの美しい、きれいな明野団地を訪ねても、かつての「六町歩」や「曼陀羅」などという地名を秘めていることなど、想像もできません。



【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
平成10年12月31日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



北へ
(多々良沼)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)

ひとりごと From editors

▶先月号の裏表紙に掲載した中野餅。何件か問い合わせを頂きありがとうございました。私も中野餅関連の商品ができるのを楽しみに、今後も追いかけてます。▶昨年撮った桜の写真を見て、桜の情景を思い出しながら桜コースを歩いてきました。きれいな桜、人が行き交う姿、お花見をしている人たちの笑い声。また、気持ちのいい春が来るんだと考えていたのも束の間。ピューピューと吹く西風に、現実へと押し戻され、ほとんど人気がない公園を散策。心も体も冷え切った私ですが、突然のお声掛けに皆さん温かく会話して頂き、心はとてもHOTになりました。▶いよいよ冬が終わり、心がほっとする春がきます。ぜひ、桜コースを歩いてください。体も温かくなりますよ。(本澤)



この広報誌は、自然保護のため植物油インキを使用しています。